



2023年10月2日

各位

会社名 株式会社ダイセキ
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 山本 哲也
(コード番号9793 東証プライム・名証プレミア)
問い合わせ先 常務執行役員企画管理本部長 片瀬 秀樹
(電話番号 052-611-6322)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年10月2日開催の取締役会において、下記のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年4月5日に公表いたしました2024年2月期（2023年3月1日から2024年2月29日まで）の通期業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 2024年2月期通期連結業績予想数値の修正（2023年3月1日～2024年2月29日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり連結 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 62,000	百万円 13,100	百万円 13,200	百万円 8,400	円 銭 170.91
今回修正予想（B）	66,000	14,200	14,300	8,800	179.05
増減額（B－A）	4,000	1,100	1,100	400	
増減率（％）	6.4%	8.3%	8.3%	4.7%	
（参考）前期実績 （2023年2月期）	58,572	12,711	13,060	8,666	174.21

2. 修正の理由

株式会社ダイセキの工場廃液を中心とした産業廃棄物の処理事業は、原材料やエネルギー価格の高騰による処理原価の上昇や、半導体業界等の生産回復の遅れによる影響を受けたものの、リサイクル燃料の販売価格も徐々に上昇し、また、国内各エリアにおいてシェアアップを図ることにより、事業を拡大してまいりました。その結果、株式会社ダイセキでは、売上高・営業利益共に過去最高を更新いたしました。株式会社ダイセキ環境ソリューションが手掛ける土壌汚染処理関連事業は、高付加価値案件の受注やコンサルティング営業に積極的に注力したことにより獲得した、中京・関東・関西エリアでの大規模土壌処理案件が業績を大きく牽引したため大幅な増収増益となりました。また、廃石膏ボードリサイクル事業についても、株式会社グリーンアローズ中部及び株式会社グリーンアローズ九州両社とも廃石膏ボード入荷量が堅調に推移いたしました。なお、2023年4月5日付で全株式を取得した株式会社杉本商事の連結子会社化に伴い、同社及びその子会社である有限会社杉本紙業の経営成績を当第2四半期連結会計期間より反映しております。株式会社ダイセキMCRが手掛ける鉛リサイクル事業は、円安による鉛販売価格の高止まりにより、採算は計画より大きく改善し、エネルギーコスト上昇を要因として減益ではあるものの、計画比では売上高・営業利益共に上回りました。システム機工株式会社が手掛ける大型タンク等の洗浄事業は、天候不良・大雨等の影響で工事の完了が当初計画より遅れたため、売上高・営業利益共に計画を下回りました。

以上の背景により、連結売上高、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益の業績予想は、2023年4月5日に公表しました業績予想を上回る見通しとなったため、業績予想を上方修正いたします。

以上